

地上に季節があり、
季節ごとに気温が変われば着るものが変わるように
水中世界でも水温が変わり、着るもの（保護スーツ）が変わります

また冬でも半袖の人、夏でも長袖の人
また、季節の変わり目は着るものが混在するように
水中世界でも同じ事が言えます

冬でもウエットスーツの人はいますし、
夏でもドライスーツの人はいます

水中世界は地上よりもやや遅れて季節が変わってきます
また水温は年によって2～3℃くらいは変わります

あくまで目安として季節・水温・保護スーツの関係性を見てください

伊豆の水温と保護スーツの目安

ダイビングインストラクタースクール
伊豆アクアマリン

伊豆の水温と保護スーツについて

月	水温 (°C)	保護スーツ目安
1	15~19	冬~初春の伊豆 寒さに強い人はウエットスーツにフードベスト等重ね着で潜りますが一般的にはドライスーツで潜ります。寒がりな人は厚手のインナーがおすすめです
2	14~17	
3	14~16	
4	15~17	春~初夏の伊豆 寒さに弱くない人はウエットスーツにフードベスト等重ね着で潜る人もいますがまだドライスーツで潜る人が多いです。寒がりな人は確実にドライスーツです。
5	16~19	
6	17~20	初夏~梅雨あけまでの伊豆 ドライスーツで潜る人もいますが、ウエットスーツも増えてきます
7	18~23	
8	21~27	夏~初秋の伊豆 最も水温が高い時期になり、ほとんどの人がウエットスーツで潜ります
9	24~26	
10	22~26	秋の伊豆 水温が高いのでウエットスーツも可能ですが気温が低くなり始めるのでドライスーツの方が快適な時期になります
11	19~23	
12	17~21	冬の伊豆 ドライスーツがおすすめです、ウエットスーツで頑張る人もいます

ドライスーツとウェットスーツについて

侵入した水を体温で暖めるスーツ。

ウェットスーツは濡れるスーツなので『ウェット』と言います。

一般的に水着を中に着用しダイビングをします。

比較的水温の高い海に最適なスーツです。

重ね着をすることで冬の伊豆でも潜れますが、
陸上が寒いので、あまりおすすめはしません。



ウェットスーツ

ブーツまで一体のカラダを濡らさない完全防水のスーツ。

カラダとスーツの間にできる空気層を体温で暖めます。

保温力に優れているので体温を奪われることが少なく、
疲れにくくなっています。

専用のインナーウェアなどを着用することで、
流水ダイビングなど極寒の環境でも潜れます。

夏の伊豆でも使えるオールシーズン型のスーツです。



ドライスーツ